

SDGs宣言書

私たちは、持続可能なまちづくりに向けて、次のとおり取り組むことを宣言します。

〈宣言日・変更日〉 令和2年7月29日

事業所・団体としての2030年の（または中長期的な）あるべき姿		
障害者権利条約の精神に則り、地域福祉の担い手として、知的障害者のみならず精神障害者、高齢者、生きづらさを抱える様々な人たちと協働するコミュニティの創造。		
事業所・団体としてのねらい、特徴的な活動		
当法人は、フランスに本部を置く国際ラルシュ連盟と連携し、知的障害者の支援という枠組みだけでなく、知的障害者とそれ以外の（健常者と呼ばれる人も含む）人との「相互関係」を重視している団体である。知的障害者は支援されるだけの対象でなく、疲弊し限界に達している現代社会の様々な面において、別の価値を与えていくイノベーターとしての役割を有していると私たちは考えている。		
各目標に関連する取組内容		
ゴール	これまでの取組	来年度の取組目標
	地域社会に根差し、知的障がい者の暮らしグループホームの運営、および日中の生活を支援する事業所の運営を行っている。	左記の継続
	実習生や外部からの来客を受け入れ、実際に知的障がいのメンバーとの触れ合いを通し、新たな価値観を得られるような取り組みを行っている。	左記の継続
	誰もが働きやすい職場づくり、職員のキャリアアップに努めている。多様な性の勉強会に職員が出席している。	左記の継続
	毎月外部からカウンセラーを呼び、職員のサポートを行い、定着しやすい環境に努めている。	左記の継続
	社会福祉事業を通じ、可能な限り住み慣れた地域で生活が続けられるようなまちづくりに努めている。	地域にある他の高齢者施設や少年院、児童相談所などと連携できないかを模索し進めていく。
	廃油を利用した粉せっけんの製造、販売を行っている。石鹸パッケージの紙化を進めている。	石鹸パッケージを紙にした商品を3種類増やす。
	国際ラルシュ連盟、エーザイ株式会社（研修で利用されている）大阪大学SSIサロンと連携している。カリタスみわ、安倍口作業所と地域の防災協定を結んだ。オープンダイアログ研究会と連携し学習を行っている。	左記の継続および拡充

（記載上の注意）

- 1 取組は3～5つの目標に関する取組を記載してください。
- 2 取組のない目標については、行ごと削除してください。
- 3 目標はなるべく定量的に記載してください。
- 4 ゴールとの関連が不明なものは「その他」に記載してください。

事業所・団体名称	社会福祉法人ラルシュかなの家 (本社が届け出る場合はその事業所の数)	
業種	12. 医療、福祉	
代表者 職・氏名	職名	理事長
	氏名	小松 大三
所在地	〒421-2114 静岡市葵区安倍口新田65-5	
URL	https://larcheiapankana.localinfo.jp/	
従業員（構成員）数	男性	女性
	_____ 27 _____ 人	_____ 17 _____ 人
	計 _____ 44 _____ 人	